

◇ 学 校 通 信 ◇

令和6年10月号

令和6年9月30日発行

桶川市立加納中学校

加納中だより

<http://www.okegawakanou-jh.edmap.jp>

《校 訓》 自主の風

《学校教育目標》

きらめく心、光る汗

生徒数 365名

行事の「感動」は生徒の成長に欠かせないもの

校長 矢澤 等

2学期は行事が多い学期です。9月には文化祭が行われ、先週は部活動の新人スポーツ大会も実施されました。この後も、駅伝班大会や校内音楽会・市内音楽会、吹奏楽部のアンサンブルコンテストなどが予定されています。保護者や地域の皆様には、温かい応援のほか、体調面や栄養面、精神面など、多方面で生徒たちを支えていただき、厚く感謝申し上げます。引き続き、見守っていただきますようお願い申し上げます。

文化祭は、多くの方のご尽力により、おかげさまで大きな成果を上げて終わることができました。生活体験講座、総合的な学習の時間の発表、文化部の発表、各学年や代表生徒の出し物など、どれも見事な出来栄でした。夏休み中から、時間を作って取り組んできた努力が、しっかりと実を結んだからだと感じます。出し物などを演じ終えた生徒たちの表情からは、達成感や充実感を見て取ることができました。「成功体験」は、生徒たちに自信を与え、取組の過程がいかに大切かということ、身をもって学んだことでしょう。

新人スポーツ大会では、種目によって結果は様々でしたが、どの会場でも、精一杯のプレーや全力で仲間を応援する姿が見られました。上位の大会への出場権を得て、歓喜する姿も素敵でしたが、敗退の瞬間、崩れ落ちるように号泣する姿にも胸を打たれました。「それだけこの大会にかけていたのだな。最後まであきらめずに闘ったのだな。」と、生徒の思いがしっかりと伝わってきました。「悔しさ」は、向上への第一歩であるし、これまでの自分たちが生まれ変わるための最大のエネルギーになると考えています。そのためにも、しっかりと振り返りをしなくてはなりません。

これから行われる行事でも、仲間と目標を共有し、日々の取組を大切にして、生徒たちが主体的に臨んでくれることを期待しています。結果によっては、喜びや悔しさはありますが、一生懸命に仲間と努力した時間は、何ものにも代えがたい貴重な経験となるはずです。行事を通して「感動」を味わい、成長していく姿をこれからも見ていきたいです。

